

彩色商標與企業識別

Part 4



美工圖書社

彩色商標與企業識別 Vol.4

著 者：美工圖書社編

出 版 者：邯鄲出版社

發 行 人：趙聖亞

發 行 所：美工圖書社

台北市士林區忠誠路二段40巷14弄2號

電話／(02)8346576・8355232

郵撥／0784758-6 傳真／(02)8366289

門 市 部：台北市復興北路35號B1

電話／7403450・7405452・7401521

印 刷 所：皇甫印刷廠

台北市長泰街297巷14號

法律顧問：鍾誠律師事務所

台北市忠孝西路一段41號9F之7

電話／(02)3145261・3142048

行政院新聞局出版事業登記證台業字第2914號

本書如有缺頁破損裝訂錯誤保證調換

版權所有



請勿翻印

中華民國八十一年一月一日出版

定價：450 元

彩色商標與企業識別

Part 4

美工圖書社

資料

TRADEMARKS

マーク

SYMBOLMARKS

シンボル

LOGOTYPES

ロゴタイプ

FULL COLOR

カラー篇④

編集
長谷川純雄
発行
小林茂二
グラフィック社

給讀者們

我們現正要推出「資料／符號、象徵、單語活字」的續篇。自本號起我們的系列略有變更。在衆多讀者「彩色化是時代趨勢！希望以彩色付印！……」等壓倒性的聲浪中，我們很到很大的鼓勵，因此將《彩色篇》放在系列的主篇位置，隔年刊行。因此，〈彩色篇4〉是「資料／符號、象徵、單語活字」第2期黃金時代，更是極彩色時代的開場。只不過本書收錄不及的作品，無有特定顏色，如公司名的單語活字作品也很多，所以我們繼而將推出〈黑白篇〉，一舉將遺漏的部分全部收錄進去，以補〈彩色篇〉不足，敬請大家耐心等待。

說到「資料／符號、象徵、單語活字／彩色篇4」是從全國的各位設計師募集而來的4875件象徵符號、單語活字及CI作品中，耗費數日選出的作品，以及編者採訪獲得的作品，共1681件所構成的。各位所知道的CI熱潮，是從超一流企業漸漸向外擴展流行起來的。因此，手法似乎有點ONE PATTERN（單模式化）？然而，這便是流行熱潮的本質吧！單語活字中以黑色來介紹的作品不勝計數也成為這次的特色。社會的趨勢是否漸漸偏好素雅呢？我們希望在不偏離時代的趨勢下，將光彩、色彩不斷的介紹給大家！

最後，我在這裏要向提供作品的多位出品者，以及協助採訪的人士，致上最高的謝意。

1991年10月1日

長谷川純雄 小林茂二

於本書中刊載之作品的色彩，出品者有指定套色彩色墨之相乘率者，則依據該相乘率印刷之，依特色範本指定的作品，則比照色票推斷相乘率印刷之，但，如作品指定為金色或銀色時，則在作品號碼後附上記號，

金色為●

銀色為●

本書利用 4 色套色相乘印刷的方式，曾在募集作品之初告知各出品者。

作品的部分或底色空間不
限定的作品，以紙面裁斷
或波形來表示。



△關於 CI 作品

- 作品作為 C.I.S.(corporate identity system) 出品者，其中則取符號(mark)或單語話字(logotype)的色彩系統為中心介紹之。
- 共同色彩(corporate color)載於圖版說明的文中，主色(main color)以 28×14 釐米的長方形表示，副色(sub color)以 28×8 釐米的長方形表示。但如由表色記號(munsell)或 PANTONE，DIC，CF 等印刷墨水範例表中，制定共同色彩(corporate color)時，依該企業規定的色號記載。印刷的色彩則終究以 4 色相乘，重現上述的制定色。
- 所有 CI 作品，其圖版說明的用語則沿用各系統中所使用的稱呼。又，用語中為企業固有名詞者，付加〈 〉。



主色



副色

簡稱說明

CD——creative director 創意指導

AD——art director 藝術指導

D——designer 設計者

I——illustrator 插畫者

A——agent 代理

C——client 客戶

1988，1990 制定年

藝術指導和設計者為同一人時，省略藝術指導。

登記時略去法人種類、分公司、分店名等。

本書收錄的作品刊載得獲製作人或客戶的允許。

有關本書的問題，以及對本書誤謬的指正，請問出版社或編者連絡。

本書所使用之顏色是依照各投稿人之指示而定的，無論四色處理之比例或色樣皆有提供。而運用這些色樣時，亦配合色卡並計算其混合比例。下列記號表示原稿之顏色為金色或銀色：

●金，●銀。

若作品背景或圖樣的顏色有連續性，則因篇幅關係，此連續性以直綫或波浪紋標識。

插圖說明中的色樣表示主色(28 mm×14 mm)和副色(28 mm×8 mm)之差別。而有 PANTONE，DIC，或 CF 色卡之顏色說明之處，亦有彩色印刷的原始墨汁明細。但是全部之色樣皆是以四色印刷複製。

はじめに	Introduction	4
------	--------------	---

凡例	Explanatory Notes	7
----	-------------------	---

マーク・シンボル・絵文字	Trademark, Symbolmark & Pictogram	9
--------------	-----------------------------------	---

ロゴタイプ 1	Logotype 1	113
---------	------------	-----

ロゴタイプ 2	Logotype 2	169
---------	------------	-----

コーポレート・アイデンティティ	Corporate Identity	193
-----------------	--------------------	-----

作家別・クライアント別索引	Index	355
---------------	-------	-----

English titles of the included works are arranged in the order of the project number from page 368.

TRADEMARK & SYMBOLMARK



1
コンピュータ・ソフト会社
D- 広川 昌弘
A- 中央美術印刷
C- アネックス
1990

2
病院
AD- 本村 裕也
D- 井村 文雄
C- あさひ病院
1990

3
運輸会社
D- 水野 栄友
A- 日広
C- アート・植物運輸
1990

4
美術制作会社
D- 福田 繁雄
C- NHKアート
1990

5
ビデオ文庫
D- 和田 眞
C- 朝日新聞社
1990

6
ギフト製菓会社
AD- 橋原 義一
D- 和田 明人
C- アプコ
1990

7
通信サービス・ショールーム
AD- 奥野 修
D- 加賀谷 敏也
A- R2アソシエーツ
C- NTT秋田支社
1989

8
建設会社
D- 浅岡 浩太郎
C- アポロ
1989

9

宇賀繁
AD - フォニーカンパニー
D - 西尾ひろみ
C - 高山ゼミナール
1989



9

10

高齢者のスキー競技会
D - 松永 真
A - NKB
C - 全日本シルバースキー競技
大会実行委員会
1990



10

11

レストラン
D - 安川和男
A - フェイナル企画
C - アリエッタ
1990



11

12

人材派遣
D - 豊松克雄
C - アーク
1989



12

14

豊工・金隆堂
AD - 伊藤敏徳
D - 堀尾 保・坪井美佐
タイポグラフィ - 伊勢谷 浩
A - イメージプラン
C - 翔テック
1989

15

レンタル・アート・ギャラリー
D - 城川田信己
C - フジオカ・アート・クラブ・ギ
ャラリー
1990



13

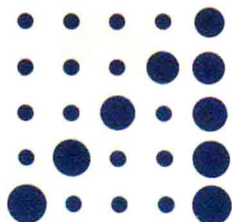


14



フジオカ
アート クラブ
1571 ギャラリー

15



16



17

16
店舗設計施工会社
D- 上岡正明
A- MATISSE
C- ジ・アトバイザー
1988

17
玩具
AD- 石川正徳
D- 森重正治・ADBOX
A- トットパンアイデアセンター
西日本
C- エンセル
1989

18・19
インテリア設計施工会社
D- 飯守格太郎
C- アサヒクリエイティブ
1990

20
ビル管理会社
D- 岸本義弘
C- 旭ダイヤモンド産業
1988

21
リゾート開発会社
D- 深井 隆
A- ファンタメンタル・アトハス
イジシング
C- パーデン
1990

22
抗露・防臭エステル繊維
AD- 今北結一
D- 里田留美子
A- カネボウファッション研
究所
C- 藤野
1989

23
OA機種のプリント方式
D- 松永 真
C- キヤノン
1990

24
女性専用・出張マッサージ
D- 城仁田信己
C- Bマッサージ
1980

25
女性下着メーカー
D- 中川健二
C- フラシエール
1989



18



19



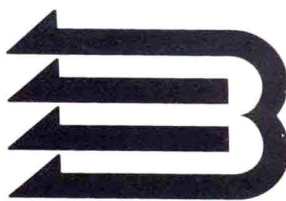
20



21



22



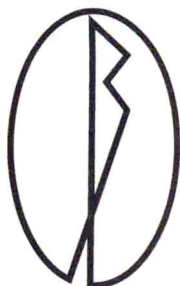
BUBBLE JET

23



Lady's only **B** massage

24



BRASSIELE

25

26
展覧会のポスター用サイン
D—長谷川 祐
C—美術文化協会
1988 1990

—1 1988
—2 1990

27
ホテル
D—万藤 寛
C—ティーアイティー
1990

28
ホテル
D—巨 和則
コピーライター—佐藤達郎
C—ホテルベイス
1988

29
製材組合
D—石田 隆・石川和子
C—警備製材組合
1988

30
資力機械メーカー
D—横野 博
A—ユコス
C—ユアテック
1989

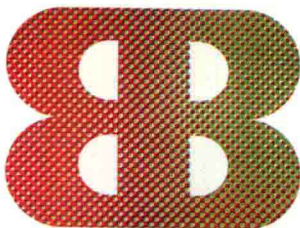
31
ケーブルテレビ放送局
AD—河田安夫
D—神崎雄彦
C—ケーブルテレビジョン別府
1990

32
マルチメディア産業
D—鈴木法典
A—ハイ・プランニング
C—千代田ハイテックシステム
1990

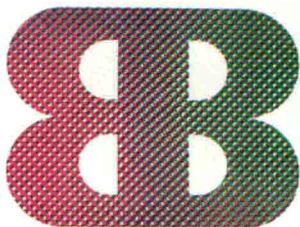
33
クリエイター・メンバーズ
AD—ブランド・ドゥ・シー
D—田中弘幸
C—イマジネーターズ・クラブ
1990

34
電機メーカー
AD—加藤真一郎
D—幸田珠希
C—シプロ
1990

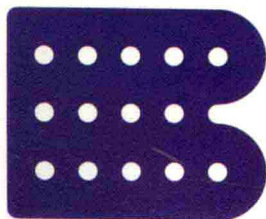
35
建設会社
D—岡平瑞希
A—ジャップ・ディレクション
C—ダイキ建設
1990



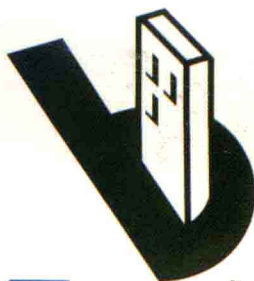
—1



—2 26



27



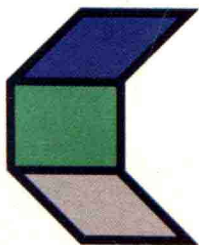
28



29



30



31



32



IMAGINATER'S
CLUB

33



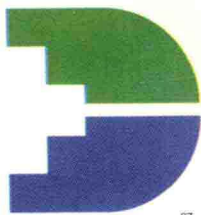
34



35



36



37



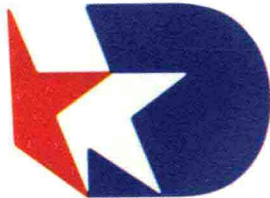
38



39



40



41

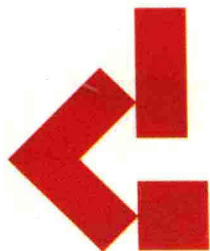


42



DIGITAS

43



44



36
デザイン・シンポジウム
D-橋本利久
A-富山インダストリアル・デザ
インセンター
C-デザインウェーブ90富山開
催委員会
1990

37
建設会社
AD-広村正彰
D-広村正彰・草谷隆文
C-大和建設
1989

38
カーレース
AD-立石 透・市越高明
D-市越高明
A-アルパ
C-ドリムカップレース
1989

39
ギャラリー
D-ダグラス・ドリトル
C-ダイアンセン
1989

40
不動産会社
D-大宝拓雄
C-ダイナ
1989

41
建設会社
AD-國本桂史
D-國本和代
C-名屋ディストラクト
1989

42・43
業務用無線会社
D-藤原孝男
C-デジタス
1990

44
塗料会社
AD-横ヶ谷佳正
D-横ヶ谷佳正・青木隆祐
C-大樹ペイント
1990

45

広告代理店
D—嵐川 案
C—愛媛広告企画
1988



45



46

46

病院
AD—榎本善治・DAM
D—渡辺晃一
C—江口眼科病院
1988

47

システム商品のブランドマーク
D—平山政樹
C—永大産業
1988



[ips]

47

48

百貨店
D—松浦孝司
C—遠鉄百貨店
1988



49

ゴルフ会費増徴事業
AD—大平良徳
D—丸岡朋子
C—藤ゴルフ企画
1990

50

エステティック・サロン
D—田辺雅一
A—サンメッセ
C—エステティファージュ
1990

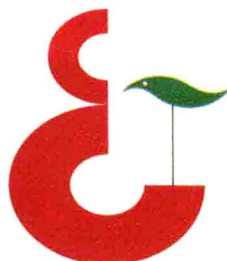


遠鉄百貨店

48



49



50